

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成28年11月1日(火)～14日(月)

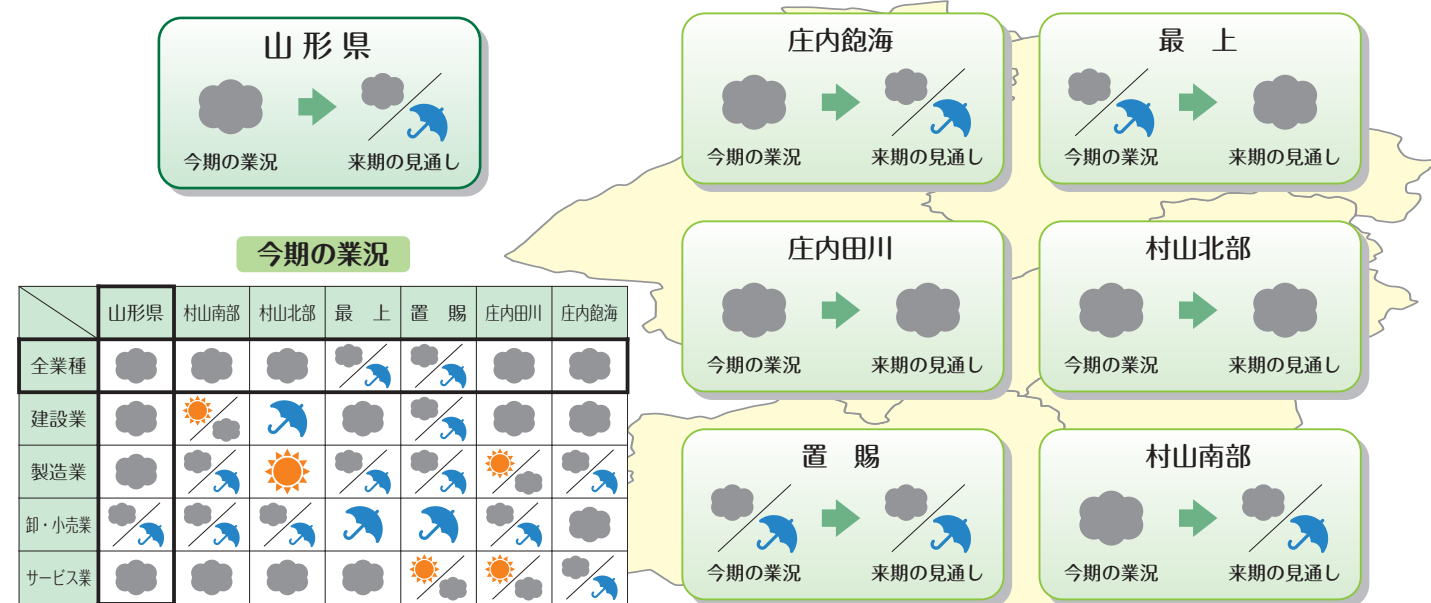
4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形690社、秋田638社
有効回答数 山形435社、秋田414社
回答率 山形63.0%、秋田64.9%

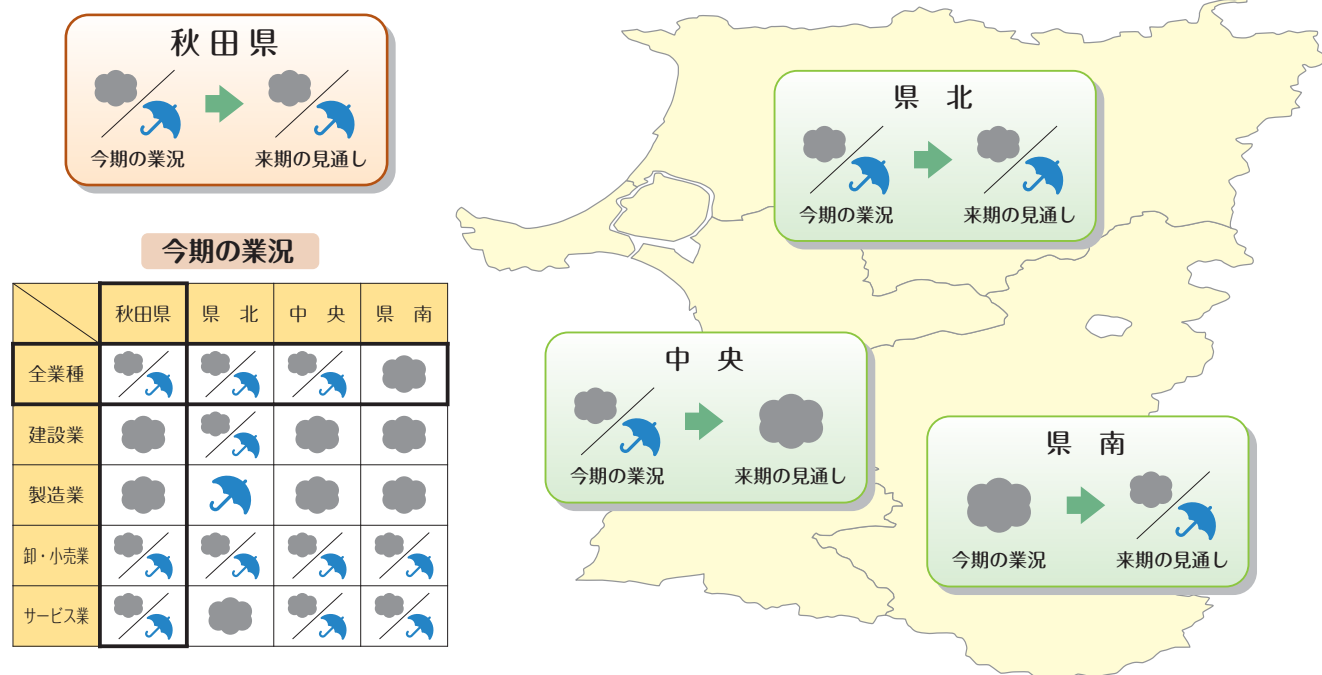
特に好調	好 調	まあまあ	不 振	きわめて不振
DI $\geq$ 30	30>DI $\geq$ 10	10>DI $\geq$ ▲10	▲10>DI $\geq$ ▲30	▲30>DI

▶ 景気の天気図

第49回「山形県内企業の景気動向調査」



第22回「秋田県内企業の景気動向調査」



▶ 自社業況の動向

山形県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲6.0(前回調査比0.3ポイント上昇)とほぼ横ばいとなった。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「人員・人手」「資金繰り」が改善したもの、「売上高」「営業利益」が横ばい圏内の動きとなった。「人員・人手」はプラス幅が拡大し、人手不足感が増している。

秋田県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲12.6(前回調査比2.5ポイント上昇)と2期ぶりに若干改善した。「各種DI値(前年同期比)」は、すべての項目で改善となった。「人員・人手」はプラス幅が拡大しており、山形県と同様に人手不足感が強まっている。

▶ 業種別の動向

山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、建設業と卸・小売業で改善した一方、製造業とサービス業で悪化となっている。製造業では前回調査でプラスに転じたDI値が再びマイナスとなった。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、建設業が3期ぶりに悪化してDI値が再びマイナスに転じたほか、サービス業が2期連続で悪化した。一方で、製造業は3期ぶりに改善、卸・小売業は2期ぶりに改善となった。

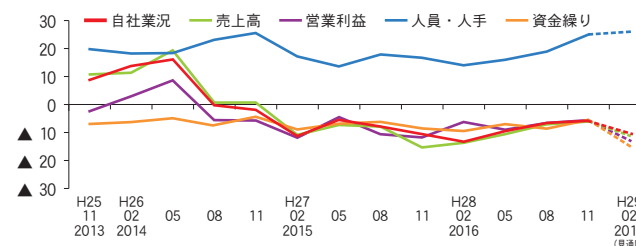
▶ 地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、村山南部、村山北部、庄内飽海で悪化した一方で、最上、置賜、庄内田川で改善となった。庄内田川では3期連続の改善となり、DI値が6期ぶりにプラスに転じた。

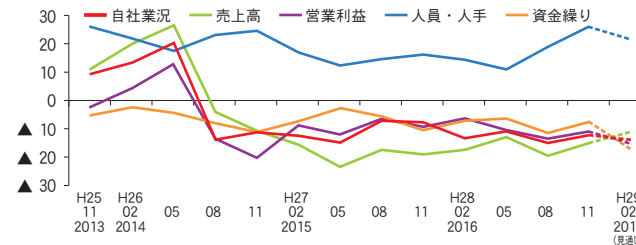
秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、県北、中央、県南のすべての地域で改善となった。県北では3期ぶりの改善、中央と県南では小幅ながら2期ぶりの改善となった。

詳細は調査レポート(<http://www.f-ric.co.jp/>)をご覧ください。

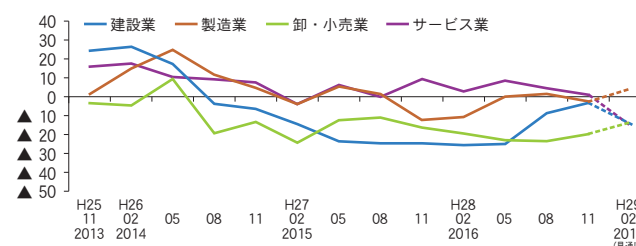
図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



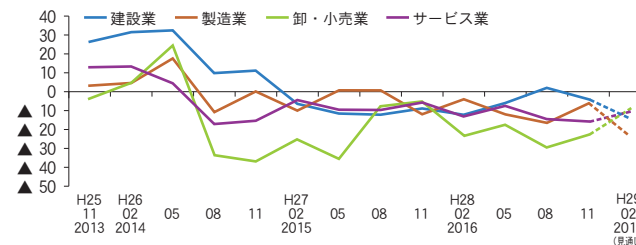
図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



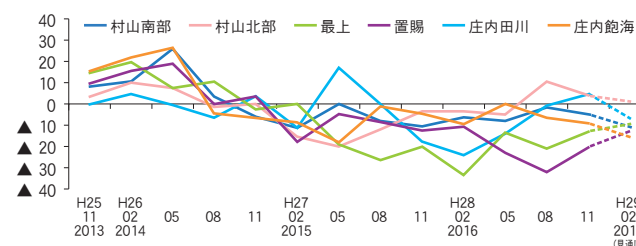
図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

